令和７年７月２日
我孫子市小中一貫教育だより
第３７７号

TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

我孫子市教育委員会　小中一貫教育推進室

我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

○「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
○確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
○自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども

布佐地区キャラクター
「ふさだ　だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

オリジナルカリキュラム「キャリアでつなぐ白山中区カリキュラム」

我孫子第四小学校の３年生社会科「はたらく人とわたしたちのくらし」の単元で、Abi キャリアの授業が行われました。米づくりなど農家の仕事について調べたことをもとに、ゲストティーチャーとしてエグチライスファームの方を授業に招き、児童たちが知りたいことを質問することで、米づくりなど農家の仕事や、仕事のやりがいや苦労について学ぶことが目的です。まず、農家の方が持ってきてくださった稲穂を見せてくれました。間近で見るのが初めての児童も多く、「これがいつも食べるお米になるんだね。」と、関心を高めていきました。

次に農家の方に事前に考えた質問をどんどんしていきます。「収穫できるのは年に１回だけ。」、「お米を大きな冷蔵庫で保存している。」「肥料をまくのは別の人に頼んでいる。」「１年で５００トンも作っている。」「収穫の時が一番の喜び。」など、実際に聞いてみてわかったことがたくさんありました。

「農家を継ぐ人はいますか？」の質問に、「まだわからないんです。みんな農家になってみたい？」と聞かれると、「大変そうだけど、みんなの食事を支えている農家ってすごい！やりたい！」と、将来の仕事について主体的に考え始める児童もいました。

小学校での学びを、中学校につなげ、勤労観・職業観を育む白山中学校区の取り組みがさらに充実していくことを感じた授業となりました。

オリジナルカリキュラム「湖北台未来へつなぐプロジェクト」

湖北台中学校の２年生が総合学習で「地域貢献活動」を実施しました。「地域のために何ができるのか。」１年生からこの課題に取り組み、グループごとに地域貢献活動を提案し、地域の方と話し合いの場を持ちながら実現に向けて学習しています。

本時では、地域のお店の PR 冊子、ポスターを作成するためにお店に取材に出ているグループがありました。「地域の PR をして地域の経済を動かしたいと思っています。」「湖北台地区が活性化するためにお店の魅力を紹介したいと思っています。」と生徒からこの取り組みの趣旨を話すとお店の方々から「それはいいですね。ありがとうございます。」と快く協力してくださる笑顔のやり取りが印象的でした。学校周辺の美化活動に参加していた生徒は「去年はとりあえずやってみるって感じだったけど、今年は去年の経験を生かして目的がしっかり持てている気がします。自分にも目標があるし、この活動を通して地域の人たちも気持ちよくなってくれることが分かって嬉しいです。」と汗を光らせながら笑顔で話してくれました。自分たちがしていることに意味を見出している生徒の発言や一生懸命お店の方にインタビューする生徒の姿から、地域貢献活動を通して生徒たちが主体的に学んでいることが感じられました。地域とのつながりが実感できている授業展開はまさに「湖北台未来へつなぐプロジェクト」の実践でした。